

分科会 7

デイケアの躍進 ～多機能・多種多様なプログラムを実施するデイケア～

座長：櫻田なつみ（[株]MARS 多機能型事業所マーレ支援員/るえか卒業生）

木村尚美（医療法人宙麦会ひだクリニック 副院長）

発言者：山本泰男（医療法人社団ほっとステーション大通り公園クリニック 精神保健福祉士）

関晋太郎（医療法人三家クリニックみつや訪問看護ステーション 所長）

肥田裕久（医療法人宙麦会ひだクリニック 院長）

高橋美久（[株]MARS 就労継続支援 B 型事業所 TERRA サービス管理者/るえか卒業生）

指定発言：原敬造（医療法人原クリニック 院長）

コーディネーター：大山早紀子（立教大学コミュニティ福祉学部）

[分科会の目的と内容]

近年、精神科デイケア（以下、デイケア）は訪問支援や就労支援を取り入れて様々な形で取られるようになってきました。この分科会では、デイケアがリハビリという本来の役割を果たすために、その他の社会資源に求められる役割は何か、従事者の皆さんの実践を聞いて、参加者の方とともに考えることを目的に行いました。

当日は、約 120 名の参加者を迎え、初めにデイケアの現状とこれからのデイケアに求められる役割について問題提起を行いました。その後、デイケアと多種多様なプログラムを組み合わせているクリニックとして、ひだクリニックの肥田さんより情報提供をいただきました。続いて、デイケアと訪問支援を組み合わせている三家クリニック訪問看護ステーションの関さん、デイケアと就労支援を組み合わせている大通公園クリニックの山本さん、デイケアでピアサポーターを導入している機関として元デイケアピアサポーターで、現在は就労継続支援 B 型事業所のサービス管理責任者の高橋さんから現場でのお話をいただきました。最後に原クリニックの原さんより、今後医療と福祉が協働していくための医療と福祉の複合型サービスの意義を含めて総括していただきました。

本分科会独自に行った分科会参加後のアンケートでは、下図のとおり、医療と福祉を取り入れた多種多様サービスについて、大きな期待があることが明らかとなりました。最後に、アンケートの自由記述について、一部ではありますが、掲載します。

- ・ユーザー、ピアスタッフから提言する努力をしていくことが、サービスを広げていくと思う。多職種と同様に。
- ・訪問看護はこれからも色々な人に必要だと思います。ピアスタッフも必要だと思いました。
- ・デイケアが「生活設計・形成」の基礎施設になれたらと思う。
- ・診療報酬を現在の実態に合わせて改訂して欲しいです。
- ・デイケアは世代間交流のできる貴重な場だと思います。地域に拓けてほしいと思います。
- ・口減らしを目的とした卒業勧告をしないでほしい。就労、根治がリカバリーの最終目的ではないのだから。
- ・時代と共にニーズも変化していく中、魅力的なデイケアにするための努力を重ねていけたらと考えました。

